

2011年度第3四半期業績の概要

株式会社 三井住友フィナンシャルグループ

2012年1月30日

* 8ページの(参考2)は2月10日付で追加

LEAD THE VALUE

1. 2011年度第3四半期業績(累計)の概要

業績は順調に進捗

業績の概要

業務純益*1		SMBC単体
通期予想比 約79%	【2011年度業績予想】 8,000億円	6,318億円

クレジットコスト		SMBC単体
通期予想比 約41%	【2011年度業績予想】 ▲600億円	▲247億円

四半期純利益		SMFG連結
通期予想比 約82%	【2011年度業績予想】 5,000億円	4,110億円

海外収益比率		管理ベース
着実に向上	【2013年度目標値】 30%程度(10年度実績:23.3%)	26.8% *2

経費率		SMBC単体/SMFG連結
目標内に コントロール	【2013年度目標値】 単体経費率:40%台後半	45.8%
	【2013年度目標値】 連結経費率:50%台前半	52.7%

※法人税率の変更等による影響(SMFG連結): ▲316億円

参考

1株当たり情報

	11年度 4-12月	前年 同期比	11年度 (11月予想)
1株当たり 四半期純利益	295.01円	▲71.53円	360.92円

	11/12月末	11/3月末比
1株当たり純資産	3,553.96円	+20.49円

*1 一般貸倒引当金繰入前 *2 中期経営計画前提の1米ドル=85円ベース

(参考) 2011年度第3四半期業績(累計)

P/L

		(億円)		11年度 4-12月 実績	前年 同期比	11年度 予想
SMBC 単体	業務粗利益	11,647	+91	15,200		
	うち 国債等債券損益	1,423	+47			
	経費*1	▲5,329	▲108	▲7,200		
	<経費率>	45.8%	+ 0.6%	47.4%		
	業務純益*2	6,318	▲17	8,000		
	与信関係費用*3	▲247	△258	▲600		
	株式等損益	▲558	▲448			
	経常利益	5,234	+23	6,400		
	四半期(当期)純利益	3,439	▲856	4,300		
SMFG 連結	経常利益	7,612	+230	9,000		
	連単差	2,378	+207	2,600		
	四半期(当期)純利益	*4 4,110	▲1,041	5,000		
	連単差	671	▲185	700		

主要グループ会社の 連結四半期純利益寄与(概数)

	(億円)	11年度 4-12月	前年 同期比
SMBC信用保証	180	+60	
三井住友 ファイナンス&リース	160	+10	
三井住友カード	120	+30	
SMBC日興証券	90	▲150	
セディナ	80	+90	
プロミス*5	▲150	▲170	

参考

格付(SMBC)

Moody's	Aa3 / P-1	R&I	A+ / a-1
S&P	A+ / A-1	JCR	AA- / J-1+
Fitch	A / F1		

*1 臨時処理分を除く *2 一般貸倒引当金繰入前

*3 前年同期実績は特別損益分を含む

*4 法人税率の変更等による影響 ▲316億円

*5 プロミス連結子会社化に伴う段階取得益251億円を含む

2. 戦略施策の進捗(11/10月以降)

- グローバル展開:オーガニック、インオーガニックともに、新興国ビジネスを中心に強化
- 銀証連携: 着実に進展
- コンシューマーファイナンス事業:プロミス完全子会社化に向け進捗

グローバル展開

拠点開設	重慶支店*1, 2	プノンペン 駐在員事務所*2
	イスタンブール 出張所*2	バハレーン出張所
	ドーハ出張所	
組織新設	決済企画室	華南ビジネス推進室
事業買収合意	RBSの航空機リース事業	
業務提携	メキシコ・Scotiabank Inverlat, S.A. ＜現地通貨建の資金決済サービス提供等＞	
	中国銀行 ＜人民元業務＞	
	中国・国家開発銀行 ＜日系現地中小法人向け人民元融資＞	

銀証連携(SMBC日興証券)

- SMBCからのお客さまの紹介業務は着実に進展
- Moelis & Companyとの業務提携
(日本企業のクロスボーダーM&A等)
- 日本株グローバルオフリングに対応する海外の引受、販売体制整備完了
- 11/12月の個人向け復興国債販売高は、証券会社で1位を確保

コンシューマーファイナンス事業

- プロミス完全子会社プロセスは着実に進捗
 - TOB、第三者割当増資を実施
 - ➔ プロミスを連結子会社化
 - 株式交換に合意、自己株式取得も予定通り進展

*1 三井住友銀行(中国)の支店 *2 開設にかかる認可取得

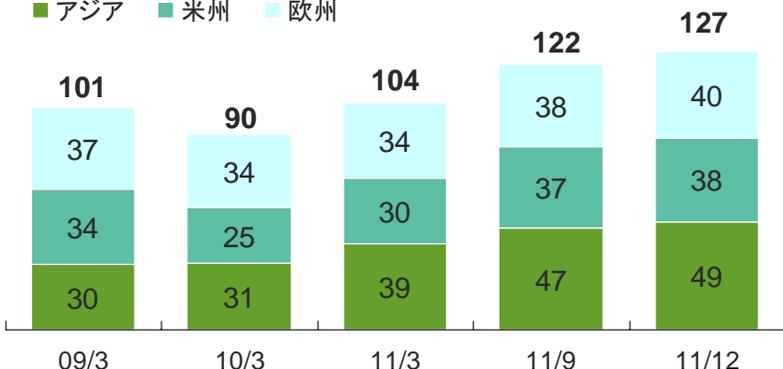
3. 「グローバル展開」の進捗状況(実績)

- 11年度第3四半期の海外収益比率は26.8%
- 海外貸出金は米州・アジアを中心に堅調に増加。外貨資金調達も拡充

海外貸出金残高*1

(10億米ドル)

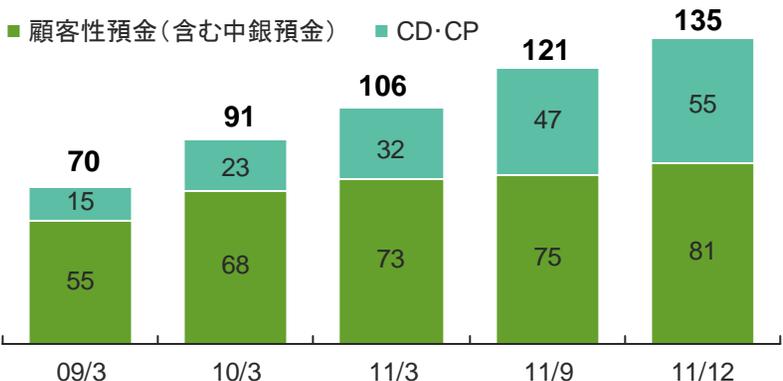
■ アジア ■ 米州 ■ 欧州



海外預金等残高*1

(10億米ドル)

■ 顧客性預金(含む中銀預金) ■ CD・CP



グローバルに強みを持つ特定プロダクト

投資銀行ビジネス*2	グローバル	アジア*3
シンジケートローン	9位	5位
プロジェクトファイナンス	3位	7位

決済サービス顧客アンケート調査
(アジア・パシフィック総合ランキング)*4

キャッシュ・ マネジメント・ サービス	大企業	4位	} 邦銀中、 6年連続1位
	中堅企業	4位	
	中小企業	3位	
円決済サービス		1位	6年連続1位

外貨資金調達の多様化

- 米ドルCPプログラム設定(09/11月)、増枠(11/11月)
- ユーロCPプログラム設定(11/11月)
- 海外機関投資家・国内個人向け外貨建債券発行

外貨建て債券発行額(百万通貨単位)



*1 内部管理ベース(各期末換算レートにて換算)。SMBC、欧州三井住友銀行及び三井住友銀行(中国)の各拠点ベース

*2 2011年実績、出所 トムソンロイター(マンデーティッド・アレンジャー) *3 シンジケートローン:アジア(除く日本)、プロジェクトファイナンス:アジア大洋州(含む豪州及び日本)

*4 出所:「ASIAMONEY」誌キャッシュ・マネジメント・サービス調査2011年8月号

4. 「銀証連携」の進捗状況(実績)

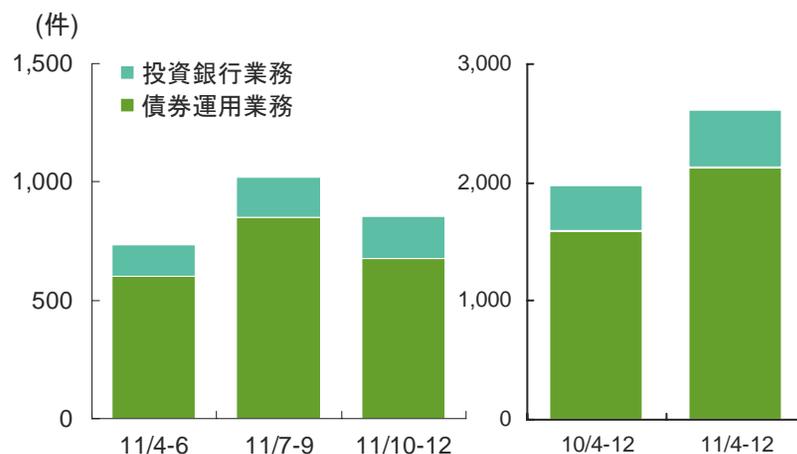
- SMBC日興証券の四半期純利益(累計)は76億円
- SMBCからSMBC日興証券への紹介件数は着実に増加し、銀証連携は進展

SMBC日興証券(単体)業績推移

(億円)	10年度	11年度 4-12月	前年 同期比
純営業収益	2,051	1,583	+4
販売費・一般管理費	▲1,666	▲1,332	▲98
経常利益	383	253	▲80
四半期(当期)純利益	235	76	▲143

銀証連携

SMBCからSMBC日興証券への紹介件数



Moelis & Companyとの業務・資本提携

- 日本企業に対するクロスボーダーM&Aのアドバイザー・サービスの提供等における協働を主眼
- 対象地域:
日本、北米、欧州、中東、北アフリカ、オーストラリア、香港、中国
- SMBCからMoelis & Companyに対して、約93百万米ドルの出資に合意(12/2月中旬を目処に実施予定)

ホールセールビジネスの強化(SMBC日興証券)

リーグテーブル(2011年4-12月)	順位	シェア
株式関連(ブックランナー、引受金額)*1	3位	13.1%
円債総合(主幹事、引受金額)*2	5位	12.5%
ファイナンシャル・アドバイザー(M&A、案件数)*1	2位	3.5%

*1 出所:トムソンロイター(日本企業関連、グループ合算ベース) *2 出所:SMBC日興証券(事業債、財投機関債・地方債[主幹事方式]、サムライ債)

5. コンシューマーファイナンス事業

プロミスの完全子会社化プロセスは、順調に進捗

SMFGによるプロミスの完全子会社化

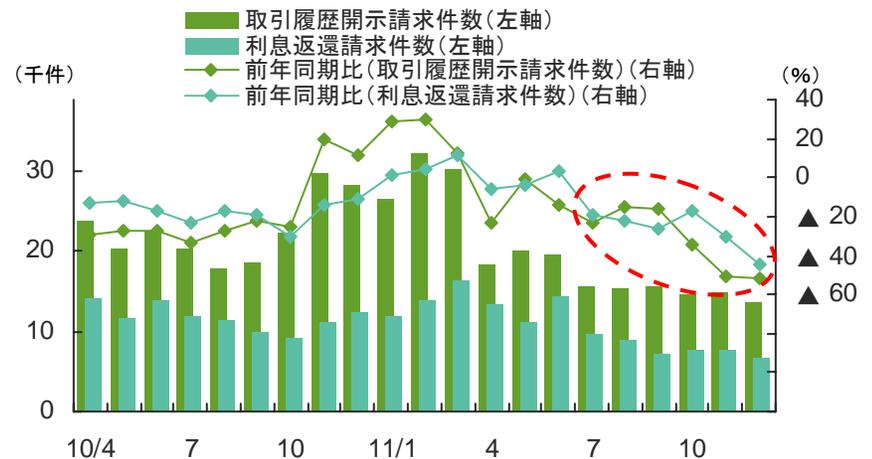
- SMBCによるプロミス株式の公開買付け
SMFGによるプロミス宛第三者割当増資
→ 議決権比率で約98%を当社グループで保有
(11/12月末時点)
- SMFGが自己株式取得
(株式交換*により交付する株式数45.7百万株
(1,000億円相当)を二度に分けて取得予定)
第1回: 22.7百万株(500億円相当)取得
第2回:
取得期間: 2012年1月31日～3月23日(予定)
取得上限: 22.9百万株又は800億円
- 株式交換*の効力発生日: 2012年4月1日

プロミス(連結)の11年度第3四半期業績

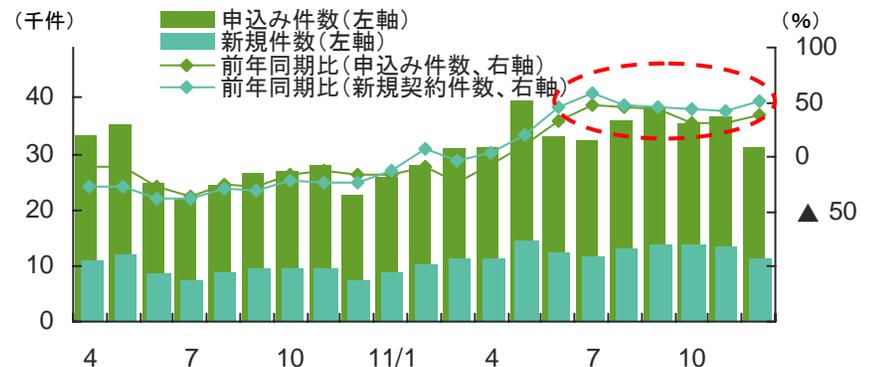
(億円)	上期実績	4-12月実績
営業収益	1,004	1,478
経常利益	▲2,057	▲1,796
当期純利益	▲2,086	▲1,821
営業貸付金残高	8,013	7,736

* 交換比率はプロミスの普通株式1株に対して、SMFGの普通株式0.36株を割当

取引履歴開示と利息返還請求件数(プロミス*)

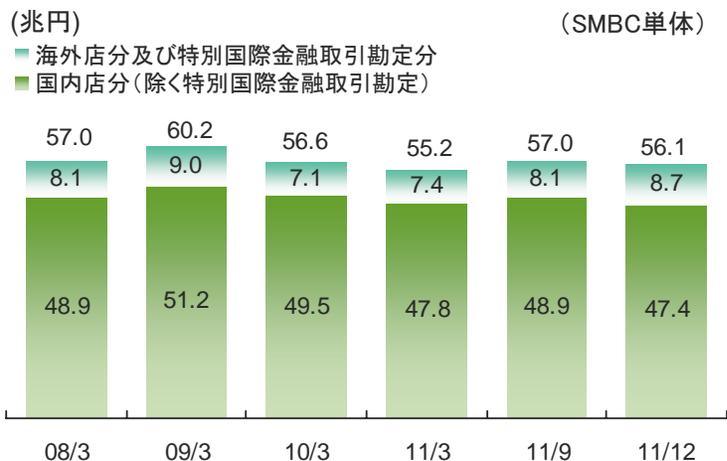


プロミスにおける申込・新規件数と成約率の状況

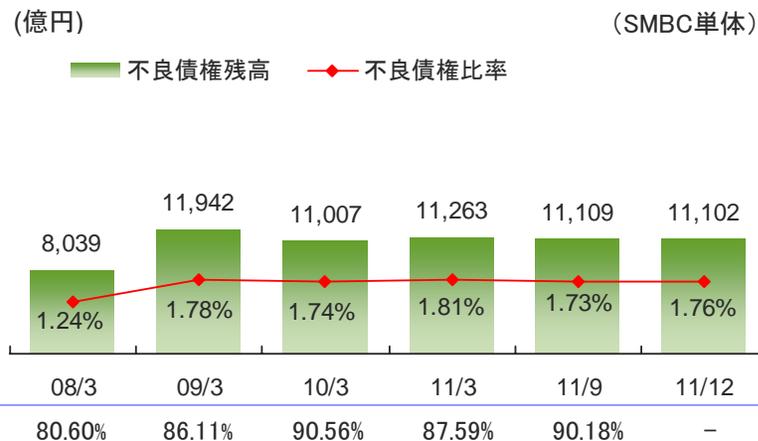


(参考1) 2011年度第3四半期 B/S関連

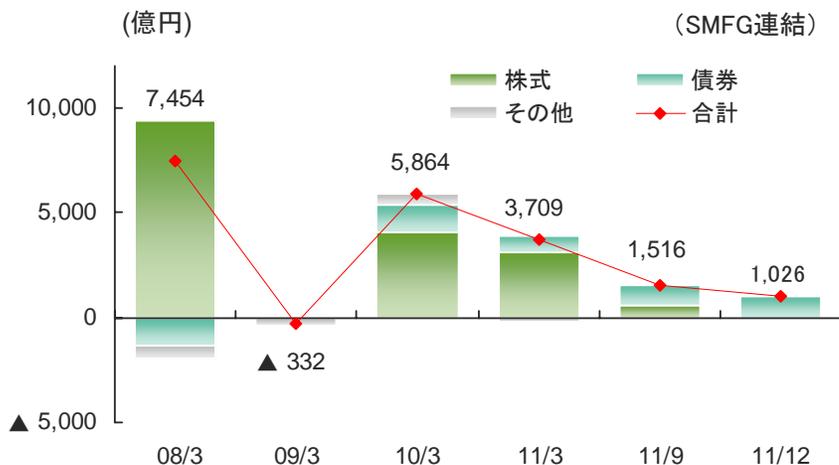
貸出金残高



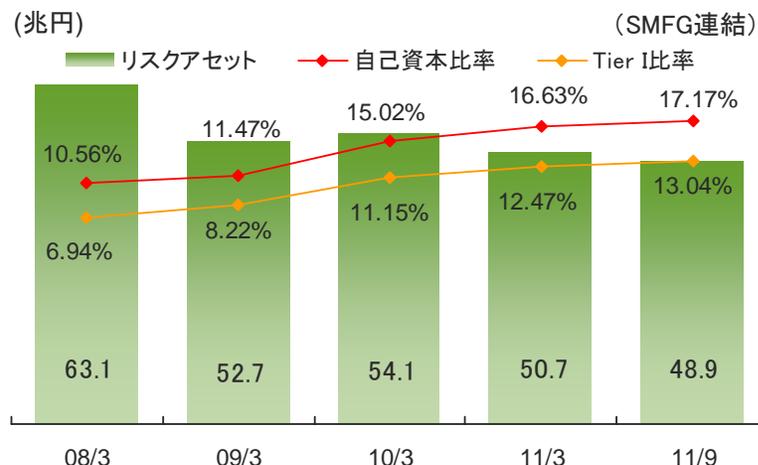
不良債権残高及び同比率*1



その他有価証券評価損益



参考 自己資本関連*2



*1 不良債権比率=金融再生法開示債権残高(除く正常債権)/総与信

*2 Basel IIベース。信用リスクアセット計測手法 08/3月末:基礎的内部格付手法(FIRB)、09/3月末以降:先進的内部格付手法(AIRB) オペレーショナルリスク:先進的手法(AMA)

(参考2) 欧州周辺国、アラブ諸国向けエクスポージャー*1, 2

欧州周辺国向けのエクスポージャーは53億ドル程度

欧州周辺国の 国債保有残高	約4百万ドル
スペイン	4
イタリア	0

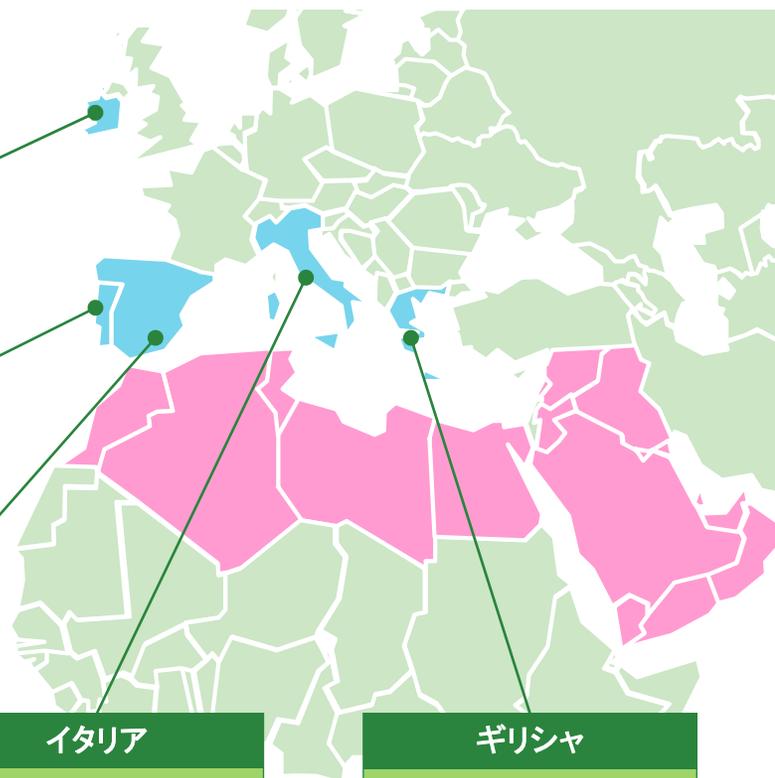
アイルランド
約4億ドル
大企業向け、 プロジェクトファイナンス

ポルトガル
約0億ドル
銀行、大企業向け

スペイン
約22億ドル
大企業向け、 プロジェクトファイナンス

イタリア
約25億ドル
大企業向け、 プロジェクトファイナンス

ギリシャ
約1億ドル
大半が担保により保全



アラブ諸国	約98億ドル
UAE*3	36
うちドバイ	12
カタール*4	27
サウジアラビア*3	18
その他*5	17
うちオマーン	5
うちバーレーン	4
うちクウェート	3
うちエジプト	2
うちチュニジア	0
うちリビア	-

*1 11/12月末時点

*2 欧州周辺国：青の網掛けの諸国、アラブ諸国：ピンクの網掛けの諸国

*3 大半が政府関連、その他地場銀行、日系企業向け

*4 プロジェクトファイナンス

*5 貿易与信、プロジェクトファイナンス

本資料には、当社グループの財政状態及び経営成績に関する当社グループ及びグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えるリスクや不確実性としては、以下のようなものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合併事業・提携・出資・買収及び経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスク、不良債権残高及び与信関係費用の増加、保有株式に係るリスクなどです。こうしたリスク及び不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出したForm 20-F等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものを参照ください。